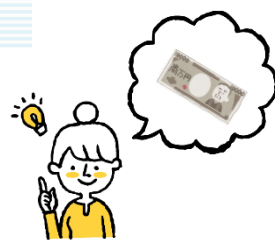


## マネープランゲーム プランニングシート



★対象学年： 小学校高学年

★所用時間： 1時間程度

★ねらい： 子どもたちがお金に興味を持ち、お金のことを考える機会をつくろう。

- ①何かを買ったり、サービスを受けたりするためには、お金を支払わなければならないことを知る。
- ②使えるお金には限りがあるため、「何かを買うと、何かを買えなくなる」ということを子どもが理解し、使えるお金のなかでやりくりするという感覚を身につける。
- ③自分がお金を使うときに大切にしたいことは何かを考え、お金の使い方を自分で決定する。
- ④お金の使い方は、人によって異なることを子どもが知り、多様な価値観に気づく。

時間 (全体で 1時間)	活動内容	子どもへの対応のポイント・留意点	準備物など
導入 (5分)	【全員で実施】 ファシリテーターから、子どもたちへ、今日のワークショップの目的や内容を簡単に伝える。	子どもたちへ、今から「お金の使い方」を考える時間だという意識づけを行う。 【声かけの例】 「もし、100万円があったら何がほしい(したい)?」 「欲しいものを買ったり、やりたいことをしたりするためには、お金の使い方が大事だよ。今日は、みんなでゲームをしながら、お金の使い方を考えてみよう」  ☺時間があれば、話しやすい雰囲気づくりのために、子どもたちへ欲しい物ややりたいことを尋ねてみたり、アイスブレイクの時間をとったりするのも◎	☺カードゲームは、5人程度のグループで行うため、あらかじめ席の配置をグループごとにおくこと、進行がスムーズ◎  ☺全体のファシリテーター1名と、グループごとにファシリテーター1～2名を配置する
展開1 (15分)	【全員で実施】 (1)ワークシート1を記入する。  (2)ファシリテーターから子どもたち	大人になって、一人暮らしをする想定で、子どもたちに、どんな生活をしたいかを考えてもらい、「食費・家賃・水道光熱費等」の項目ごとに、ワークシートに書かれてある内容から選択してもらう。 選択したものの金額を、予算の欄に書き込んでもらい、①合計額を計算する。  ☺参加している子どもに合わせて、ワークシ	・ワークシート1 ・筆記用具

	<p>ハ、香川県の一般的な初任給が19万円程度で、手取りだと15万円程度であることを説明し、「お給料の額②」に15万円を記入する。</p> <p>(3)ワークシート1の「自由に使えるお金②—①」を計算し、記入する。</p> <p>(4)5人程度のグループに分かれる</p> <p>【グループで実施】</p> <p>(5)どんな予算をたてたのか、グループ内で発表する。</p>	<p>ートに書かれてある言葉がわかりにくい場合は、適宜説明を行う。</p> <p>例)「初任給」…初めてもらう給与 「手取り」…初任給から保険料や税金を差し引いた実際に受取れる金額(初任給の全額を受取れるわけではないことを説明する)</p> <p>「予算」…どれだけお金が入ってきて、それをどんなことに、どれだけ使うかをまとめたもの。</p> <p>選択した理由や、自分の予算のポイントを話してもらう。</p> <p>自分が送りたい生活には、いくらお金がかかり、自由に使えるお金がどの程度残るのかを認識してもらう。</p> <p>送りたい生活は、人それぞれ異なり、多様であることに気付いてもらう。</p> <p>☺多様な考え方や意見を尊重できる雰囲気づくりをする。</p>	<p>グループごとにファシリテーターを1～2名配置する。</p>
<p>展開2 カード ゲーム (30分)</p>	<p>【グループで実施】</p> <p>(1)子ども一人につき、15万円(1万円10枚、千円50枚)のお金と、ワークシート2を配る。</p> <p>(2)設定・ルールを説明する。</p> <p>(3)カードをめくる人の順番を決める。</p> <p>(4)ゲームスタート</p> <p>(5)カードを全部めくり終わったら、ゲーム終了</p>	<p><u>ルール</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人1年目の設定</li> <li>・初めてもらったお給料15万円で1か月の生活をやりくりする。</li> <li>・順番に一人ずつ、カードを1枚めくる。</li> <li>・カードに書かれてある内容にどう対応するか、参加者全員が各自選択し、お金をもらったり、支払ったりする。</li> <li>・カードは3種類</li> </ul> <p><b>赤色カード</b>…「食費」「家賃」「水道光熱費」「通信費」「交通費」のカード。このカードが出たときは、ワークシート1で決めた予算の金額を全員が必ず支払う。</p> <p><b>緑色カード</b>…支払いカード。カードに選択肢が書かれているので、各自</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート2</li> <li>・筆記用具</li> <li>・おもちゃのお金(15万円/人×人数)</li> </ul> <p><u>1人分の内訳</u></p> <p>1万円…10枚、千円…50枚</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カード(約20枚)</li> </ul> <p><u>20枚の内訳(目安)</u></p> <p>赤色カード(必須)…5枚 緑色カード(選択)…約12枚 黄色カード(選択)…約3枚</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電卓</li> </ul> <p>☺子どもへお金を渡すときは、お給料袋に入れて渡すなど工夫してみると、気分が盛り上がって楽しいですよ!</p> <p>☺カードについて、「食</p>

		<p>選択して、自分が選択した金額を支払う。</p> <p><b>黄色カード</b>・・・ラッキーカード。カードに書かれた金額を受取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループのファシリテーターが、お金の受け渡しを行う。</li> <li>・もらったり、支払ったりしたお金の額を、自分でワークシート2に記録する。</li> <li>・途中でお金が足りなくなってしまった人は、そこでゲーム終了。</li> <li>・すべてのカードをめくり終えるまで、お金が足りなくならなければ、ゲームクリア。</li> </ul> <p>☺楽しく参加できる雰囲気大切に。</p> <p>☺途中でお金が足りなくなってしまった子どもへのフォローも忘れずに。ファシリテーターのお手伝いをしてもらうなど、引き続きゲームに参加できるよう工夫しましょう。</p>	<p>費」「家賃」「水道光熱費」「通信費」「交通費」のカードは、必ず使用する。その他のカードは、収支のバランスや季節等を考慮しながら、主催者が使用するカードを選択する。また、所用時間によって、カードの枚数を調整する。</p> <p>☺次のカードは対になっているので、めくる順番を考慮して使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『医療保険』(緑色)と『入院』(緑色)</li> <li>・『資格』(緑色)と『ランクアップ』(黄色)</li> <li>☺白紙のカードを使って、新たなカードを追加できます。子どもとオリジナルルールや新しいカードを考えてみるのもいいですね！</li> </ul>
<p>まとめ (10分)</p>	<p>【グループで実施】</p> <p>(1)ワークシート2の「1か月をふりかえろう！」を記入する。</p> <p>(2)グループ内で発表する。</p>	<p>グループのファシリテーターは、ワークシート2の内容をもとに、子どもに『お金を使う時に大切にしたこと』『後悔したこと』『お金を使う時に迷ったこと、悩んだこと』などを発表してもらう。</p> <p>最後に、ワークショップを通して気づいたことや、これから大切にしたいことを子どもに発表してもらい、日常生活でも生かせるように意識づけを行う。</p> <p><b>ふりかえりのポイント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金は限られていて、何かを買ったら何かをあきらめなくてはいけない。</li> <li>・お給料の中から、まず「必要なもの」を支払い、残りのお金で好きなことをしたり、買ったりする。</li> <li>・自分が大切にしたいことは何かを考えて、お金の使い方を決定する。</li> <li>・人それぞれ、大切にしたいことは違う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート2</li> <li>・筆記用具</li> </ul>

		<p>☺ 全員が発言できるように配慮する。</p> <p>☺ お金をたくさん残すことがゴールではなく、自分が送りたい生活のために、どのようにお金と使うかが大切。「必要なもの」に使うお金を節約して、自由に使えるお金を増やし、自分の夢や楽しみのために使う方法もあることを伝える。</p> <p>☺ 子どもの価値観や自己決定を認める声かけを行う。</p> <p>【声かけの例】</p> <p>「〇〇さんは～が大事だから、そこにお金をかけたんだね。素敵だね。」</p> <p>☺ 時間に余裕があれば、グループ内で発表した内容を、全体で共有する時間を持つ。</p>	
--	--	---	--

作成：香川県子どもの未来応援ネットワーク事業 金銭教育ワークショッププログラム検討会【令和4年3月】

(認定 NPO 法人さぬきっずコムシアター, NPO 法人まんまるサポート, 高松市社会福祉協議会, 三豊市社会福祉協議会, 宇多津町社会福祉協議会, 高松信用金庫, 香川県教育委員会事務局生涯学習・文化財課, 香川大学教育学部学生, 香川県子ども政策課, 香川県社会福祉協議会 順不同)

